



科学の進歩はものすごい勢いで進んでいます。

先日、「豚の心臓を人間に移植する。」といった驚くニュースが飛び込んできました！その成功のカギとなったのが、『ゲノム編集』だそうです。ゲノム編集？聞きなれない言葉ですが、食品の世界では有名な技術です。みなさんはこのニュースをどのように感じますか？

感染症 VS 研究者

世界中で新型コロナウイルスの感染者の増加が止まりません。しかし、感染症との戦いは今に始まったわけではなく、古くから様々な未知の感染症との戦いの連続でした。

そして、多くの研究者たちがウイルスや細菌、寄生虫による原因を追究し、人々を救ってきたのです。

感染症

人間と感染症との戦いで最も古い記録は、紀元前5世紀のギリシャだそうです。パスト(ノミが人間を刺すことで感染)・天然痘(古代インドが起源のウイルス)・コレラ(汚染された水や食物から感染)・結核(結核菌による空気感染)・鳥インフルエンザ・エボラ出血熱・エイズ・SARS・新型コロナウイルスなど…。

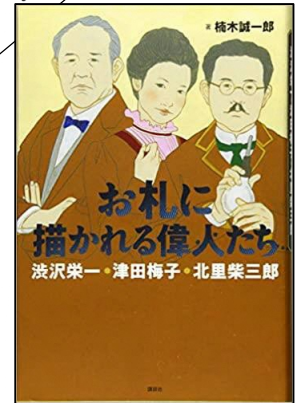
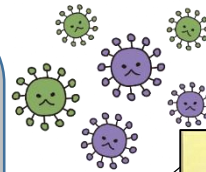
VS

研究者

北里柴三郎(破傷風菌)
パストゥール(狂犬病ワクチン)
ロベルト・コッホ
(結核菌・コレラ菌)
アレクサンダー・フレミング
(ペニシリン開発)
など多くの研究者がさまざまな感染症の研究を行ってきた。

『免疫でがんを治す』といった研究でノーベル賞を受賞した本庶佑さんも、偉大な功績をのこした。

『パストゥール(世界を変えた科学者)』
スティーヴ・パーカー 岩波書店



『おれに描かれる偉人たち』
渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎
橋木誠一郎 講談社

『日本のスゴイ科学者
29人が教える発見のコツ』
日本科学未来館 朝日学生新聞社



『みんなに話したくなる感染症のほなし』
14歳からのウイルス・細菌・免疫入門
仲野徹 河出書房新社



『新型ウイルスのサバイバル1』
ゴムドリco. 朝日新聞出版



『病魔という悪の物語』
チフスのメアリー
金森修 筑摩書房